

令和7年度消費者行政の実績について

1 消費者教育と啓発

(1) 資料及び情報の収集・提供

消費生活センターに常設している展示スペースにおいて、衣・食・住・環境問題・契約等に関わる様々な資料及び情報を収集し、啓発パンフレット・パネル等を設置することにより、消費生活に関する情報を提供している。

(2) 図書・DVD等資料の貸出し

衣・食・住・環境問題・契約等の消費生活に関する啓発DVD等や図書の貸出しを実施している。

(3) 消費者月間

消費者保護基本法（現在の消費者基本法）の制定20周年を記念し、昭和63年から毎年5月が「消費者月間」とされ、令和7年度は啓発パネル展を開催した。

期 間	場 所
令和7年5月8日～令和7年6月2日	メガセンタートライアル旭川店 「旭川市情報コーナー」

(4) 移動パネル展の実施

消費者トラブル未然防止の啓発パネルの掲示を、市内公共施設で一定期間、巡回掲示した。

期 間	場 所
令和7年8月5日～令和7年9月5日	神楽市民交流センター
令和7年9月5日～令和7年9月30日	新旭川公民館ホール
令和7年10月15日～令和7年11月11日	メガセンタートライアル旭川店 「旭川市情報コーナー」
令和7年11月11日～令和7年12月1日	障害者福祉センター（おびった）
令和7年12月1日～令和7年12月25日	旭川市総合庁舎1階
令和8年2月10日～令和8年3月3日	永山市民交流センター

(5) 市広報誌への啓発記事掲載

市の広報誌「あさひばし」に帯記事も含め、消費生活に関する注意喚起やイベントに関する情報を記事として掲載し、啓発を行った。

(6) 旭川市消費者被害防止ネットワーク加入機関等への情報提供

Eメール及びFAXにより、旭川市消費者被害防止ネットワークニュースの配信、悪質商法等に係る注意喚起情報の配信を行った。

(7) 啓発チラシの作成

悪質商法に関わる消費者トラブルの未然防止を図るため、啓発リーフレットを市民、中学生、高校生、高齢者等に配布した。

(8) ホームページによる情報提供

ホームページから、悪質商法、毎月の物価、イベントの開催などの情報提供に努めた。

(9) リフォーム作品展

循環型消費生活の啓発を目的として、不要になった衣類等を利用し、自主研修グループが製作した作品を展示した。

(10) 消費生活展

消費生活に関する情報を市民に提供し、消費生活に関する知識の普及並びに安定と向上を目的に、一般社団法人旭川消費者協会と共催で開催した。

開催日 令和7年10月4日～令和7年10月5日
場 所 旭川市1条通8丁目 フィール旭川7階
出展者 旭川市消費生活センター（パネル展示、休日消費生活相談）
北海道農政事務所（ポスター等展示）
日本FP協会道北支部（パネル展示）
旭川弁護士会（ポスター等展示）
旭川市計量検査所（ポスター等展示）
消費生活自主研修グループ菰の会（古着リサイクル作品展示）
一般社団法人旭川消費者協会（パネル展示、地産地消活動、消費者ひろば作品展示、フリーマーケット、消費者セミナー等）
来場者 約500人

(11) 消費者協会実施事業に対する支援

一般社団法人旭川消費者協会の出前講座等市民向け消費者教育啓発事業に対して補助金を支出し、消費者問題解決力の向上を図った。

ア 消費者出前講座

開催日	対象	テーマ	受講者
5月12日	サロン会員	悪質商法・特殊詐欺に気を付けて	20人
5月13日	地域高齢者	悪質商法・特殊詐欺に気を付けよう	40人
5月15日	地域高齢者	悪質商法・特殊詐欺に気を付けて	40人
6月6日	百寿大学学生	「悪質商法の手口を知ろう！」	26人
6月9日	地域高齢者	悪質商法・特殊詐欺に気を付けて	45人
6月10日	地域高齢者	悪質商法・特殊詐欺に気を付けて	55人
6月27日	百寿大学学生	消費生活：消費者詐欺を防ぐ	20人
6月29日	町内会会員	悪質商法・特殊詐欺に気を付けて	20人
7月10日	百寿大学学生	悪質商法にあわないために	10人
7月15日	地域高齢者	消費生活・特殊詐欺に気を付けて	40人
9月7日	町内会会員	「SNS型ロマンス詐欺に気を付けて」	16人
9月14日	町内会会員	通信販売にクーリングオフ制度はありません	40人
10月5日	高齢者	訪問購入に気を付けて	20人
10月22日	百寿大学学生	消費者詐欺を防ぐ！	22人
10月29日	シニア大学学生	悪質商法に気を付けて	15人
11月6日	高校生	これって契約ですか・契約の義務と責任を考える	136人
2月15日	高齢者従業員	通信販売にクーリングオフ制度はありません	37人
3月8日	町内会会員	通信販売のルールを知ろう	20人
3月17日	地域高齢者	狙われる消費者	10人
合 計	19回		632人

イ 消費者セミナー

開催日	場 所	内 容	講 師	受講者
7月3日	フィール旭川7階 消費生活センター会議室	「高齢者のためのスマホの基本」	ソフトバンク職員	11人
8月21日	フィール旭川7階 シニア大学講座室	「ごみの分別を学びましょう！」	旭川市クリーンセンター職員	21人
10月4日	フィール旭川7階 シニア大学講座室	「続・終活へのアプローチ」・「生命保険契約者代理制度」	社会福祉協議会職員・生命保険協会	35人
2月4日	フィール旭川7階 シニア大学講座室	健康寿命を延ばそう！「幸せは足元から！元気に動いて健康実感」	R-body(株) 職員	28人

ウ 街頭啓発

市民に啓発チラシを配付した。

実 施 日	場 所	テ ー マ
5月24日	買物公園周辺	・通信販売「定期購入に要注意」 ・明日の地球を救うため、消費者にできること、グリーン志向消費へのグリーンにする？（アンケート）

2 消費生活相談

(1) 消費生活相談の実施

消費者安全法に基づく苦情等の相談を実施した。なお詳細は、会議資料3の「令和7年度消費生活相談のまとめ」に記載のとおり。

(2) 各事業者団体等との情報交換

各事業者団体等（生命保険協会等）が開催する情報交換会に出席し、本市の相談状況を説明することにより、苦情処理の円滑化を図るとともに、情報交換を通じ、相互の連携を深めた。

(3) 相談員研修等の実施

消費者行政に従事する消費生活相談員等のレベルアップを図るため、研修会を開催した。

	開 催 日	研 修 テ ー マ	講 師 派 遣 団 体
第1回	6月30日	特定商取引法と訪問販売の相談事例	(公社)日本訪問販売協会
第2回	8月22日	相談事例から学ぶ生命保険	(一社)生命保険協会
第3回	9月25日	民事調停について	旭川簡易裁判所
第4回	10月24日	個人情報情報に関する消費者懇談会	CRIN協議会

3 適正な取引環境の確保

市民からの通報や、消費生活相談において、不当な取引行為が認められる業者に対し、法令の遵守を要請するとともに、次の方法により改善等について指導を行う。なお、いずれも令和7年度は指導等はなかった。

(1) 現地指導

通報、又は各戸に配布された広告・チラシの内容などから、悪質商法の疑いがある場合は、現地に赴き、業者から説明を聞くなどし、必要に応じて口頭で指導を行う。

(2) センター内指導

販売方法等に問題がある事業者に対しては、消費生活センターに来所を求めるなどして、法令遵守の徹底について指導（口頭）を行う。

(3) 文書指導

口頭で指導を行ったにもかかわらず、改善が見られない場合には、改めて文書で指導を行う。

4 物価動向の把握

(1) 小売価格調査及び公表

ア 調査の概要

(ア) 調査の趣旨

「旭川市民の消費生活を守り高める条例」に基づき、生活必需物資の34品目について、価格調査員15名により毎月20日に、価格及び需給動向について調査し、その結果についてセンターのホームページと報道機関を通じて公表した。

(イ) 価格調査員

価格調査員は、市内に住所を有する18歳以上の者とし、公募により市長が委嘱する。

(ウ) 調査期間

令和7年4月から令和8年3月まで年12回調査した。

(エ) 調査店舗

46店舗（石油製品31店舗、食品雑貨15店舗）

調査店舗は、各地域の実態を考慮して市が選定し、原則として調査期間中は、同一の店舗とした。

(オ) 調査方法

価格調査員が市内の調査対象小売店舗を訪問し、店頭における調査品目の販売価格を調査するとともに、出回り状況について調査した。本調査では、家計の中から実際に支出される金額を調査するという考え方から、すべて消費税込みの小売価格で行った。

(カ) 調査品目

石油製品・食品雑貨・肉類・鮮魚・野菜のうち、家計支出の比率が高いもの、代替性の少ないものなど34品目を生活必需物資として調査した。

〈石油製品〉 灯油・プロパンガス・ガソリン（3品目）

〈食品・雑貨〉 砂糖・食用油・小麦粉・牛乳・しょう油・みそ・鶏卵・納豆・豆腐・食パン・米・ティッシュペーパー・トイレットペーパー・ラップ・合成洗剤（15品目）

〈肉類〉 牛肉・豚肉・鶏肉（3品目）

〈鮮魚〉 塩さけ・さんま・ほっけ・いか・まぐろ（5品目）

〈野菜〉 大根・白菜・キャベツ・玉ねぎ・長ねぎ・ほうれん草・ばれいしょ・きゅうり（8品目）

イ 令和7年度平均小売価格調査結果及び前年度比価格上昇率

[単位：小売価格 円、上昇率 %]

品 目		規 格	令和7年度 平均小売価格	令和6年度 平均小売価格	価格上昇率 対前年度比
石 油	灯 油	1リットル 配達料込み	131.17	123.39	6.31
	プロパンガス	5立方メートル 基本料込み	6,727.11	6,587.00	2.13
	ガソリン	1リットル レギュラー	170.41	178.21	▲ 4.38
食 品 雑 貨	砂 糖	上白糖 1キログラム	295.89	288.94	2.41
	食用油	サラダ油 1,000グラム	429.84	436.34	▲ 1.49
	小麦粉	薄力一等粉 1キログラム	357.77	334.53	6.95
	牛 乳	普通品 1,000ミリリットル	287.64	262.28	9.67
	しょう油	濃口1リットル ペットボトル詰	367.18	385.57	▲ 4.77
	み そ	750グラム	325.78	325.21	0.18
	鶏 卵	L玉(64～70グラム)10個	311.34	294.91	5.57
	納 豆	普通品30～50グラム3個パック	108.50	107.21	1.20
	豆 腐	木綿 300～400グラム	95.23	96.38	▲ 1.19
	食パン	普通サイズ 6枚スライス	181.35	166.03	9.23
	米	ななつぼし 10キログラム	8,178.59	6,057.62	35.01
	ティッシュペーパー	400枚(200組)5箱組	409.30	394.76	3.68
	トイレットペーパー	50～60メートル12ロール	452.82	414.88	9.14
	ラップ	30センチメートル×20メートル	219.23	218.83	0.18
	合成洗剤	濃縮小型タイプ 1.0キログラム	473.72	460.76	2.81
肉 類	牛 肉	国産ロース スライス 100グラム	643.91	567.31	13.50
		外国産ロース スライス 100グラム	335.66	320.32	4.79
	豚 肉	国産ロース スライス 100グラム	226.53	228.08	▲ 0.68
	鶏 肉	モモ(骨なし)100グラム	134.97	125.64	7.43
魚 類	塩さけ	切身 100グラム	272.32	242.21	12.43
	さんま	100グラム	153.20	145.35	5.40
	ほっけ	開きほっけ 100グラム	158.01	149.89	5.42
	い か	姿もの 100グラム	296.13	310.38	▲ 4.59
	まぐろ	めばち・きはだ赤身100グラム	367.58	333.88	10.09
野 菜	大 根	100グラム	20.54	24.60	▲ 16.50
	白 菜	100グラム	26.53	36.54	▲ 27.39
	キャベツ	100グラム	22.75	32.76	▲ 30.56
	玉ねぎ	100グラム	40.85	31.94	27.90
	長ねぎ	100グラム	102.25	95.70	6.84
	ほうれん草	100グラム	140.61	132.47	6.14
	ばれいしょ	100グラム	45.85	39.61	15.75
	きゅうり	100グラム	72.33	85.83	▲ 15.73

ウ 調査品目の概況

(ア) 原油価格の動向

年度当初、71.20ドル/バーレルで始まり、産油国の政策や需要動向、地政学的リスク（中東やロシア・ウクライナ情勢など）といった複数の要因に大きく左右され、価格が上下に変動する不安定な状況が続いた。さらに、国内では暫定税率が12月31日をもって廃止となり、令和8年1月以降は価格が25.1円ほど安くなるという影響がありました。しかし、その後の動きとして、米国によるイラン攻撃への警戒が高まったことやホルムズ海峡の実質的閉鎖が発生したことで、日本への原油供給が滞る状況となり、供給不安や地政学的緊張が原油価格を押し上げ、国際的な原油価格も急騰した。その結果、令和8年3月24日のWTI原油価格は92.35ドル/バーレルという高値を記録した。

(イ) 灯油（1リットル当たり。配達料込み）

年度当初から2月までは、130円前後で推移したが、原油価格の影響で3月の平均価格が154円台と急激に値上がりした。前年度と比較すると年間平均で7.78円値上がりした。

(ロ) プロパンガス（5立方メートル。基本料込み）

年度当初から9月までは、6,700円台で推移したが、10月から年末にかけて一時6,600円台となり、その後6,800円台と値上がりした。前年と比較すると年間平均で140円程度値上がりした。

(ハ) ガソリン（レギュラーガソリン1リットル当たり）

年度当初の平均価格183円台から6月以降平均価格170円台で推移し、12月から2月までは平均価格150円台となっていたが、原油価格の影響で3月の平均価格173円台まで値上がりした。年間平均では、前年と比較すると8円程度低い170円台となった。

(ニ) 食品雑貨（15品目）

食品雑貨については、概ね値上がりとなった。中でも、米の平均価格は、昨年度から値上がり傾向となり、年度当初の平均価格は7,400円台だったが、異常気象や流通の問題等のさまざまな市場の影響により、3月には8,400円台となり、大幅に値上がりした。前年と比較すると年間平均で2,000円以上高くなり、8,100円台となった。

(ヒ) 肉類（3品目）

豚肉は、年度当初の平均価格210.20円が、3月の平均価237.50円となり27.3円値上がりとなったが、平均価格は、前年度と比較すると、226.53円と1.55円値下がりした。他の品目については、前年度より値上がりした。

(ヘ) 鮮魚（5品目）

いかについては、昨年度の水揚げ量が過去最低だったこともあり、年度当初の平均価格371円台と上昇していたが3月の平均価格292円台となり大幅に値下がりした。前年度と比較すると年間平均で14.25円低い、296.13円となった。他の品目は前年度より値上がりした。

(ホ) 野菜（8品目）

玉ねぎ・ばれいしょは、夏季の高温、干ばつの影響により年間の平均価格が高値で推移した。また、昨年度高値だった白菜・キャベツは、前年度より約3割程度値下がりした。他の品目の価格は概ね平年並みなので推移した。

(2) 年末年始における生鮮食料品などの価格動向の公表

年末年始を迎えるにあたって、正月用品をはじめとする生鮮食料品など生活必需物資について、市場の協力を得て、その供給及び価格動向を把握し、ホームページと報道機関を通じて公表した。

(3) 市民の意見を聴く会の開催

公益的事業者（バス、上下水道）が料金の変更（値上げ）をしようとするときは、事業者の協力を求めて「市民の意見を聴く会」を開催し、広く消費者の意見を反映するように努める。なお、令和7年度は開催実績がなかった。

5 消費生活用製品安全法等に基づく立入検査

(1) 消費生活用製品安全法に関する検査結果（特定製品）

	圧力鍋及び圧力釜	乗車用ヘルメット	ライター	登山用ロープ	石油ストーブ	乳幼児用ベッド	携帯用レーザー応用装置
立入店舗数	2	1	1	1	2	2	1
検査対象数	5	3	3	3	6	3	2
違反件数	0	0	0	0	0	0	0

(2) 消費生活用製品安全法に関する検査結果（特定保守製品）

	石油給湯器
立入店舗数	1
検査対象数	1
違反件数	0

(3) 家庭用品品質表示法に関する検査結果

	糸	ポリ袋	エアコン	障子紙
立入店舗数	1	2	1	1
検査対象数	3	6	1	2
違反件数	0	0	0	0

(4) 電気用品安全法に関する検査結果

	直流電源装置	リチウムイオン蓄電池	LED電灯器具	電気湯沸器	アダプター
立入店舗数	4	4	4	4	2
検査対象数	11	12	8	9	5
違反件数	0	0	0	0	0

(5) ガス事業法に関する検査結果

	ガスこんろ
立入店舗数	2
検査対象数	4
違反件数	0

(6) 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に関する検査結果

	一般ガスこんろ	カートリッジガスこんろ	開放式ストーブ
立入店舗数	1	2	2
検査対象数	2	5	2
違反件数	0	0	0

6 消費生活会議

(1) 令和7年度開催経過

開催日 令和7年8月5日
 議題 令和6年度消費者行政の実績について
 令和7年度消費者施策と関係予算について
 消費生活相談の現状について
 その他（消費生活行政全般に係る意見交換）
 委員構成 学識経験者4人、事業者3人、消費者3人、計10人

7 行政機関との連携

(1) 全国中核市消費者行政協議会

消費者行政の諸問題について協議するとともに、意見の交換と相互の連絡を行い、消費者行政の効果的推進に資することを目的として開催された。（令和元年度に会議会員市から文書会員市へ変更）

(2) 北海道都市消費生活行政連絡協議会

北海道各市における消費生活行政の基本的な施策の整合性を保ち、物価及び消費者保護行政を効率的に推進することを目的として、令和7年10月30日に伊達市で開催された。